

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	住宅・建築物耐震改修促進事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	都市整備部				課	住宅まちづくり課		
市長公約との関係	所信表明	改修補助制	市政運営方針	R2		R3		R4					
総合計画体系	基本目標		1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標		1.災害に対する備えができています										
	実行計画名		1-2.防災対策の推進										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1997(H10)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律				
関係補助金名称	枚方市既存民間建築物耐震診断補助金 枚方市木造住宅耐震改修設計補助金 枚方市木造住宅耐震改修工事補助金 枚方市住宅除却工事補助金 枚方市危険ブロック塀等除却補助金			サンセット	2017(H29)年度 ~ 2019(R1)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	・現行の耐震基準を満たさない(昭和56年5月31日以前に建てられた)建築物を所有・管理する者 ・危険ブロック塀等を所有する者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	・耐震化に関する知識がなく、地震での災害に際し建築物等の安全性がわからない。 ・耐震診断、耐震改修等を行うにあたっては、経済的な負担が発生する。 ・建築物等が現行の耐震基準を満たしておらず、大地震等の際に市民の生命、健康、財産の保護に支障を与える恐れがある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	・実際に耐震診断を行い、耐震化に関する知識が高められ、地震での災害に際し所有する建築物等の安全性が把握できている。 ・建築物等の耐震化がなされ、大地震等の際の被害軽減が図れている。				
事業概要	・耐震診断に要した費用の一部を補助することにより、耐震化を促すとともに、啓発を行い地震に強い住宅とまちづくりを目指す。 ・木造住宅の耐震化に要した費用の一部を補助し、耐震化を促進することで、地震による市内の人的及び物的な被害の軽減を図る。 ・危険ブロック塀等の除却に要した費用の一部を補助し、ブロック塀の倒壊等による事故防止を図る。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		住宅・建築物の耐震化が図られる(耐震改修・除却補助の実施)				耐震化の必要性について、市民の理解度が深まる(耐震診断補助の実施)				住宅・建築物耐震改修促進事業(耐震化事業の啓発)の実施			
指標設定	指標説明	耐震補助制度を活用し改修・除却された木造住宅等の件数(累計)				耐震診断補助金交付申請件数(累計)				旧耐震基準への補助制度の周知件数(広報等により周知)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	700	800	900	1,000	1,700	1,800	1,900	2,000	28,200	28,000	27,800	27,500
	実績	687				1,670				28,200			
	達成度	98%				98%				100%			
分析	目標件数より下回っているものの、概ね想定内であると思われる。				目標件数より下回っているものの、概ね想定内であると思われる。				周知はできているものの、今後耐震改修に進んでいく件数が増加していく様な取り組みを検討する必要があると思われる。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.34
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.08
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	12,026	10,687	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	183	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	12,026	10,870	
	物件費計	—	63,842	22,785	36,040	63%
	歳出計	—	75,868	33,655		
歳入	国庫支出金	—	26,021	10,780	17,750	
	府支出金	—	8,760	3,678	5,961	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	17,261	7,538	19,855	
	歳入計	—	52,042	21,996	43,566	
	一般財源	—	23,826	789	▲ 7,526	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	耐震補助に関して一定の応募(申請)があり、耐震化に対する効果はあると思われるが、補助内容や啓発方法を検討しながら、更に耐震化を進めていく必要がある。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	枚方市住宅・建築物耐震改修促進計画(第Ⅱ期)の中期検証を行うとともに、目標達成に向けて更なる耐震化に取り組む。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	マンション管理支援事業											
測定年度	2020(R2)年度				部	都市整備部			課	住宅まちづくり課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち										
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち										
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2004(H16)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	マンションの管理の適正化の推進に関する法律、マンションの建替え等の円滑化に関する法律				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内の分譲マンションの区分所有者			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	分譲マンションは、各区分所有者の共同生活に対する意識の希薄さ、区分所有者間の意思決定の難しさ、建物構造上の技術的判断の難しさなど、建物を維持管理していく上で多くの課題がある。			
	ターゲットが抱える課題	今後高経年マンションが急激に増大していくため適正管理がより重要となっている。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内の分譲マンションにおいて、管理組合がきちんと組織され、区分所有者により適正にマンション管理が行われている。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の窓口としてマンション管理等に関する相談に対応。</li> <li>分譲マンション管理基礎セミナーの開催。</li> <li>マンション管理関係者へのマンションの管理または建替え等に関する情報提供・サポート。</li> </ul>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市内の分譲マンションの管理組合、区分所有者の意識が向上し、適正なマンション管理が行われている。				管理組合、区分所有者がセミナーに参加する。				マンション管理基礎セミナーを開催する。			
指標設定	指標説明	本市におけるマンション管理組合、区分所有者の相談・助言件数				マンション管理基礎セミナー参加人数				マンション管理基礎セミナー開催回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	1	1	1	1	30	30	30	30	1	1	1	1
	実績	0				0				0			
	達成度	0%				0%				0%			
分析	マンション管理組合や区分所有者からの相談等はなかった。				新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からセミナー開催を見送った。				新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からセミナー開催を見送った。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,850	4,009	3,988		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,850	4,009	3,988		
	物件費計	0	34	0	90	—	
	歳出計	4,850	4,043	3,988			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		4,850	4,043	0	90		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	平成16年度からマンション管理センターと共催で、マンション管理セミナーを開催し情報を発信してきたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からセミナー開催を見送ったが、今後オンラインで行うセミナーなど開催できる方法を模索していく必要がある。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続きセミナーを開催し、必要な情報や資料の提供に努め、マンション管理関係者のサポートを行う。また、マンション管理適正化法の改正を受け、管理適正化推進計画の策定に向けて取り組みの方向性を整理する必要がある。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	住宅施策事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	都市整備部			課	住宅まちづくり課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2017(H29)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	①②住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	住宅の確保に特に配慮を要する人(高齢者・障がい者・低所得者・外国人・子育て世帯・被災者等)			
	サブターゲット	賃貸住宅を所有する人。セーフティーネット住宅の賃貸を行う人、行いたい人。			
	ターゲットが抱える課題	高齢者や障がい者等であることを理由に賃貸住宅の入居を断られるケースがあり、住宅確保要配慮者にとって住まい探しが容易にできる状況ではないことが課題となっている。			
	ターゲットが抱える課題	賃貸人にとっての懸念事項として、家賃滞納、孤独死等が挙げられる。			
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市内において住居を求める人、特に配慮を要する人が安心して暮らしている状態。				
事業概要	①セーフティネット住宅登録等に関する事務 ②Osakaあんしん住まい推進協議会等への参画(会議への出席等) ③UR都市機構、大阪府、府住宅供給公社等の住宅整備に関し、市の窓口として連絡調整				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						セーフティーネット住宅の登録を行う。				セーフティーネット住宅の登録申請を受ける。			
指標設定	指標説明					セーフティーネット住宅の登録件数				セーフティーネット住宅の登録申請件数			
		単位				単位				単位			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					2	2	2	2	2	2	2	2
	実績					0				0			
達成度					0%				0%				
分析					年度により件数にばらつきがあるものの、想定範囲内であった。				年度により件数にばらつきがあるものの、想定範囲内であった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.01
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.06
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	12,404	8,658	8,055	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	138	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	12,404	8,658	8,193	
	物件費計	10	0	0	0	—
	歳出計	12,414	8,658	8,193		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	32	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	32	
一般財源		12,414	8,658	0	▲ 32	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律に基づき、セーフティネット住宅の登録及び登録基準の審査を行う。(令和2年度登録実績 0件)
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	住宅確保要配慮者の居住支援にあたっては、福祉部局との連携が必要であることから庁内関係部署と連携を図るとともに、大阪府が事務局となる各種協議会に参画し情報の共有・発信に努める。また、登録事務にあたっては引き続き適正な審査を行う。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	空き家・空き地対策推進事業													
測定年度	2020 (R2) 年度				部	都市整備部				課	住宅まちづくり課			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち												
	施策目標	5.快適で暮らしやすい環境を備えたまち												
	実行計画名	5-2.空き家、空き地等の適正管理の推進												

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2016 (H28) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法、枚方市空家等及び空き地等の対策に関する条例				
関係補助金名称	若者世代空き家活用補助金		サンセット	2020 (R2) 年度	～ 2022 (R4) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内の空き家所有者等 (所有者や管理者など)			
	サブターゲット	枚方市で定住を希望している子育て世帯・若者夫婦世帯			
	ターゲットが抱える課題	少子高齢化による人口減少や核家族の進行により増加し続けると見込まれている空き家の所有者等が、それぞれの都合や多岐にわたる問題により、空き家の有効な活用ができていなかったり、適正な管理ができていない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内の空き家が有効に活用されていたり、適正に管理されており、管理不良な空き家が存在しない。				
事業概要	<p>適切な管理が行われていない空家等が、防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすことが考えられるため、空き家の未然防止や活用など、空き家対策について総合的、計画的に取り組むことで、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与することを目的とする。</p> <p>空家等対策の推進に関する特別措置法の規定に基づき、総合的な施策を推進する。空家等対策計画の策定に向けた取り組み&lt;環境保全課、景観住宅整備課、建築安全課&gt;。</p> <p>また、空き家を活用する取り組みとして補助制度を創設する。補助金の交付により①子育て世帯・若者夫婦世帯の人口流入、定住促進 ②旧耐震空き家の除却、新たな空き家の発生抑制、特定空家化の未然防止 ③地域の活性化、住環境の向上、都市のスポンジ化防止などの効果が見込まれる。補助制度の内容は、市外から転入または市内の賃貸住宅に居住する子育て世帯や若者夫婦世帯が、建築基準法上の旧耐震基準 (昭和56年5月31日以前) で建てられた市内の中古住宅 (空き家) を取得し、除却する工事費およびその敷地に住宅を新築する費用、もしくは中古住宅を耐震改修し、リフォームする費用に対して最大100万円を限度に補助する。</p>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	空き家の発生の未然防止や不動産流通が促進する。	対象者がセミナー等に参加し、空き家の有効活用等の知識を得ることができる。	専門家と連携した空き家セミナー・個別相談会を開催する。	
指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	市内の空き家が不動産流通等により解消された件数	専門家と連携した空き家セミナー・個別相談会参加人数	専門家と連携した空き家セミナー・個別相談会開催回数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 件	単位 人	単位 回
	目標 (見込み)	R2 30 R3 30 R4 30 R5 30	R2 50 R3 50 R4 50 R5 50	R2 3 R3 3 R4 3 R5 3
	実績	R2 1	R2 0	R2 0
達成度	3%	0%	0%	
分析	補助制度の協議申請件数自体は、23件あるものの、コロナ禍の影響もあり工期が延びており、年度内に完了したものが、その内1件だけであった。	コロナ禍により、セミナー等の開催を中止した為。	コロナ禍により、セミナー等の開催を中止。今後は、WEB等開催方法を検討する。	

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		空き家の発生の未然防止や不動産流通が促進する。				補助申請者が交付申請を行い、子育て世帯・若者夫婦世帯が住宅を取得し、市内に定住する。				子育て世帯・若者夫婦世帯が若者世代空き家活用補助制度の活用に向けて事前協議を行う。(問合せ・相談等)			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定②	指標説明	市内の空き家が不動産流通等により解消された件数				若者世代空き家活用補助制度に係る交付申請件数				若者世代空き家活用補助制度に係る事前協議件数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30
	実績	1				1				23			
	達成度	3%				3%				77%			
分析	補助制度の協議申請件数自体は、23件あるものの、コロナ禍の影響もあり工期が延びており、年度内に完了したものが、その内1件だけであった。				コロナ禍の中で、契約から工事完了までの時間が想定以上に掛かっている。				コロナ禍により、申請受付開始時期が遅れた事や、経済状況の悪化による制度利用者の足止めが想定される。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.61
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.57
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	11.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	26,390	37,359	28,790	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	1,306	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	190	
		人件費計	26,390	37,359	30,286	
	物件費計	1,314	18,023	2,063	35,477	6%
	歳出計	27,704	55,382	32,349		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	279	1,000	4,717	
	歳入計	0	279	1,000	4,717	
	一般財源	27,704	55,103	1,063	30,760	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	コロナ禍において、セミナー開催や、補助申請件数に影響が出ているが、その中でも流通促進や、制度の周知等、一定の活動は出来たと思われる。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	現状のまま継続して取り組むとともに、ICTを活用したオンラインセミナーの開催や、更なる制度周知拡散に努める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	サービス付き高齢者向け住宅登録等に関する事務										
測定年度	2020(R2)年度			部	都市整備部			課	住宅まちづくり課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	高齢者の居住の安定確保に関する法律				
関係補助金名称			サンセット		~
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	高齢者向けの施設が整った賃貸住宅で安否確認のサービスを受けながら安心して生活したい高齢者。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	高齢者向け住宅に入居したい高齢者が戸数の不足により入居できない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	高齢者向け住宅に入居したい高齢者が、高齢者向けの施設の情報を取得できており、円滑に安心して入居できる状態。				
事業概要	事業者からの申請図書を福祉部と連携しながら審査し、登録事務を行うと共に登録基準の適合状況確認のため施設の立入検査等を行う。また、賃貸住宅への入居希望者に対して円滑な入居のための援助に努める。				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						サービス付き高齢者向け住宅として登録される。				事業者からの申請図書を審査する。			
指標説明						サービス付き高齢者向け住宅登録件数				事業者からの登録申請件数			
指標種類		単位				単位 件				単位 件			
指標設定		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
指標数値		目標 (見込み)				5	5	5	5	5	5	5	5
		実績				2				2			
達成度						40%				40%			
分析						年度により件数にばらつきがあるものの、想定範囲内であった。				年度により件数にばらつきがあるものの、想定範囲内であった。			

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.71
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.04
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,850	6,414	5,662		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	92		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,850	6,414	5,754		
	物件費計	0	0	0	0	—	
	歳出計	4,850	6,414	5,754			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	369	195	227		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	369	195	227		
一般財源		4,850	6,045	▲ 195	▲ 227		

5. 総括的分析

総括的分析	審査等に当たっては健康福祉部と連携し、役割分担に応じてサービス付き高齢者向け住宅事業の登録や更新登録の事務を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	事業者からの登録申請にあたっては適正な審査を行い、賃貸住宅を探している高齢者等に幅広く情報提供する。また、必要に応じて登録事業者に報告聴取や立入検査を行い、登録要件の適合等について確認等を行う。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	歴史的景観保全事業(住宅まちづくり課)													
測定年度	2020(R2)年度				部	都市整備部				課	住宅まちづくり課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち											
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	2002(H14)年度			年度	~				年度まで					
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称	修景補助金							サンセット	2017(H29)年度		~	2019(R1)年度		
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		景観重点区域(枚方宿地区)で建築行為等を行う者											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		歴史的な地域の特性を生かした良好な景観形成に関する知識がない。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	歴史的な地域の特性を生かした良好な景観形成を行っている状態													
事業概要	歴史的な街並み景観の保全のため街道沿いに残された貴重な町家の保全や、一般の建物の歴史的な修景について建物所有者等と調整を行い、建造物等の外観等の修復、復元等に要する経費の一部を助成する。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	歴史的な地域の特性を生かした良好な景観形成がなされる。				歴史的景観の保全・整備が行われる。				修景補助金を交付する。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	修景補助予定件数に対する修景補助を行った物件数の率【算出式:修景補助実績件数(当該年度)/修景補助予定件数(当該年度)】				修景補助件数(累計)				修景補助予定件数(当該年度)					
	単位 %				単位 件				単位 件					
	指標種類 増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		100	100	100	100	50	52	54	56	2	2	2	2
	実績		50				49				1			
達成度		50%				98%				50%				
分析		目標件数より下回っているものの、概ね想定内であった。				目標件数より下回っているものの、概ね想定内であった。				目標件数より下回っているものの、概ね想定内であった。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.75
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,896	6,013	5,981		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	3,896	6,013	5,981		
	物件費計	5,708	5,015	3,000	6,001	50%	
歳出計		9,604	11,028	8,981			
歳入	国庫支出金	2,854	2,397	1,690	3,250		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	2,854	2,397	1,690	3,250		
一般財源		6,750	8,631	1,310	2,751		

5. 総括的分析

総括的分析	枚方宿地区の修景助成を1件行った。
-------	-------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き枚方宿地区の修景助成を推進し、歴史的街並みの形成を進める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	建築協定・まちづくり支援事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	都市整備部				課	住宅まちづくり課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち											
	施策目標		28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち											
	実行計画名													

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業							
事業期間	1990(H2)年度		年度	～	年度まで							
根拠法令等	建築基準法、枚方市建築協定条例											
関係補助金名称	建築協定締結補助金				サンセット	2017(H29)年度		～	2019(R1)年度			
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		良好な住環境と魅力あるまちなみを形成しようとする地域の住民組織									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		建築基準法や都市計画法に定められた最低限の基準のみが遵守されたまちなみでは統一感が無く、理想とする良好な住環境が維持できない。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	建築協定に定める建築物の基準により、統一感のある良好で魅力的な住環境が維持され、良好な住環境と魅力あるまちなみが形成されている。											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築協定を締結している地区で構成されている「ひらかた建築協定まちづくり連絡協議会」との連携により、各建築協定地区の運営委員会に対して情報の提供、意見等の交換や普及活動等を行い、住民意識の向上を図るため支援を行っている。</li> <li>住民組織が建築協定を締結し、認可を受けた場合、建築協定の締結に要する印刷費、郵送費、会議費及び標示板の設置費等の経費の実支出額に対して上限12.5万円を限度として補助金を交付する。</li> </ul>											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	建築協定の運営が円滑に行われるとともに、統一感のある良好で魅力的な住環境が維持され、良好な住環境と魅力あるまちなみが形成される。	建築協定制度への理解が進み、地域住民組織の意識が向上する。				建築協定まちづくり連絡協議会による総会、役員会、意見交換会を開催する。							
指標説明	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
	市内における建築協定地区総数				総会、役員会、意見交換会の参加人数				総会、役員会、意見交換会の開催回数				
指標設定	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	38	38	38	38	55	55	55	55	5	5	5	5
	実績	37				0				5			
	達成度	97%				0%				100%			
分析	建築協定の有効期間が満了し継続手続きがされなかったため。				コロナ禍により、総会等を書面にて開催したため。				コロナ禍により、書面での開催を行った。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.56
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.06
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,214	5,371	4,466		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	138		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,217	5,371	4,604		
	物件費計	0	57	19	530	4%	
歳出計		4,217	5,428	4,623			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		4,217	5,428	19	530		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染拡大に配慮し、書面開催にてひらかた建築協定まちづくり連絡協議会の会合の開催し制度の普及啓発と支援に努めた。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	良好な住環境の保全など地域の実情に応じたまちづくり形成に取り組む住民組織を今後も継続して支援する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	都市景観形成事業												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	都市整備部				課	住宅まちづくり課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち										
	施策目標		28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	1991 (H3) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	景観法、屋外広告物法				
関係補助金名称	枚方市景観形成市民団体活動補助金			サンセット	2017 (H29) 年度 ~ 2019 (R1) 年度
関係附属機関名称	景観審議会				

事業対象	メインターゲット	本市に居住している、来訪される市民
	サブターゲット	市内で建設業や広告業を行う事業者
	ターゲットが抱える課題	良好な景観の形成に関する専門的な知識がない。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	一定規模以上の建築物等や歴史的な街なみ等の景観誘導を行うことにより、市民や事業者とともに地域の特性を生かした良好なまち並み形成が図られ、良好な景観の形成がなされている。
---------------------------	--

事業概要	<p>景観法、屋外広告物法を活用し、一定規模以上の建築物等や歴史的な街なみ等の景観誘導を行うことにより、市民や事業者とともに地域の特性を生かした良好なまち並み形成を図る。</p> <p>①一定規模以上の建築物等の景観誘導 ②枚方宿地区における歴史的景観建造物の指定 ③屋外広告物の許可事務等 ④景観審議会に関する業務</p>
------	--

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	市民や事業者とともに地域の特性を生かした良好なまち並み形成が図られ、良好な景観の形成がなされる。	一定規模以上の建築物等や歴史的な街なみ等の景観誘導が行われる。	景観法の届出等を受理する。

指標設定	指標説明	良好な景観が形成されている件数 【算出式:届出のうち景観形成基準に適合している件数/届出件数】	届出等の累計件数 (R2~)	届出等の件数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: %	単位: 件	単位: 件
	目標 (見込み)	R2: 100, R3: 100, R4: 100, R5: 100	R2: 30, R3: 60, R4: 90, R5: 120	R2: 30, R3: 30, R4: 30, R5: 30
	実績	100	24	24
	達成度	100%	80%	80%
	分析	想定通りであった。	想定通りであった。	想定通りであった。

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	市民や事業者とともに地域の特性を生かした良好なまち並み形成が図られ、良好な景観の形成がなされる。	屋外広告物の許可を行う。	屋外広告物の許可申請等を受理する。

指標設定②	指標説明	良好な景観が形成されている件数 【算出式:届出のうち景観形成基準に適合している件数/届出件数】	許可申請等の累計件数 (R2~)	許可申請等の件数 (当該年度)
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位: %	単位: 件	単位: 件
	目標 (見込み)	R2: 100, R3: 100, R4: 100, R5: 100	R2: 400, R3: 800, R4: 1,200, R5: 1,600	R2: 400, R3: 400, R4: 400, R5: 400
	実績	100	380	380
	達成度	100%	95%	95%
	分析	想定通りであった。	想定通りであった。	想定通りであった。

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)										
	市民や事業者とともに地域の特性を生かした良好なまち並み形成が図られ、良好な景観の形成がなされる。	市民による自主的な景観形成の促進が図られる。	枚方市景観形成市民団体活動補助金を交付する。										
指標設定 ③	指標説明	良好な景観が形成されている件数 【算出式:届出のうち景観形成基準に適合している件数/届出件数】	補助交付件数										
		単位	%										
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標										
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	100	100	100	100	0	0	0	0	0	0	0	0
	実績	100				0				0			
	達成度	100%											
	分析	想定通りであった。				想定通りであった。				想定通りであった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.07
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	3.00
附属機関委員	7.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	12,396	15,010	13,725		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	93		
		附属機関委員	—	—	67		
		人件費計	12,412	15,010	13,885		
	物件費計	1,064	1,148	981	1,232	80%	
	歳出計	13,476	16,158	14,866			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	5,183	5,040		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	5,183	5,040		
一般財源		13,476	16,158	▲ 4,202	▲ 3,808		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	景観法に基づく届出による協議により、本市の景観に及ぼす影響の大きい建築物等の景観誘導・指導を行った。また、景観アドバイザー制度の活用を促し、良好な景観形成のための助言を行った。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	景観法等を活用し、引き続き良好な景観形成の推進を図る。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	住宅まちづくり課運営事務												
測定年度	2020(R2)年度			部	都市整備部				課	住宅まちづくり課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外										
	施策目標		99.施策体系外										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	不明			年度	~		年度まで					
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット	~				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	住宅まちづくり課に所属する職員										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	課を運営するための事務が多岐にわたる。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営事務を円滑に行えている状態。											
事業概要	課の運営業務											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)			
指標設定	指標説明														
	指標種類	単位					単位					単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標 (見込み)													
	実績														
	達成度														
	分析														

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.37
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,214	6,268	10,771		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	3	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,217	6,268	10,771		
	物件費計	93	150	29	89	33%	
	歳出計	4,310	6,418	10,800			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		4,310	6,418	29	89		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	①予算及び決算に関する事務 ②給与、休暇、人事、サービスに関する事務 ③消耗品等の物品の契約及び整理、保管 ④文書の收受、発送及び整理、保管 ⑤庁内外への照会・回答処理事務 ⑥事務引継関連事務について、適正に履行した。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、円滑かつ適正な事務の執行に努めていく。また、物品の再利用や同等製品で安価な物品の購入にさらに努めるなど、経費の節減に取り組んでいく。